

土岐川グリーンベルト通信 第56号

平成26年度「土岐津の森」土岐津中学校による活動報告

土岐津中学校では、「地域に学ぶ」をテーマとして、1年生81名が、樹林の大切さ・樹林整備の意義についての学習会を1回、観察会を1回、樹林整備活動を2回、合計4回の活動を行いました。

○第1回学習会（平成26年10月10日）

講義「森と人との関わり」

～岐阜県森林組合連合会 中島講師を招いて～

実験・降雨体験

○第2回観察会（平成26年11月7日）

「森にふれよう！」

・・・土岐津の森ってどんな森？

土岐津の森の中を見てみよう！

○第3回樹林整備活動（平成26年11月28日）

18班にわかれて、樹林整備（除伐作業）を実施

○第4回樹林整備活動（平成27年1月16日）

歩きやすい歩道の整備作業を実施



学習会の様子



↑
中島講師
による講義



↑
支援者職業紹介



↑
砂防ダム実験

土砂災害と
森の働き
～土砂流出実験～



←降雨体験



観察会の様子

観察会では、初めて土岐津の森に入る生徒たちが「森にふれる」ことを目的として、昨年度までに先輩が整備した森の様子や森の木・土の様子を観察し、整備に向けて丸太を切りました。

木の葉や幹を観察して木の名前を調べました。→



ノコギリを使って丸太を切りました。→



穴を掘って腐植土の厚さを測りました。→

←森を観察しながら1周歩きました。



はじめて土岐津の森に入る生徒がほとんどでした。

樹林整備の様子

11月にのこぎりを使って、樹林整備（除伐作業）を行いました。森が明るくなりました。



2～3人1組で協力して伐採作業を行いました。



疲れたけど楽しかった、という声が多数聞かれました。

ボランティアの方（土岐津地区、土岐口財産区、多治見さぼう・みちボランティアクラブ）の支援もいただき、道具の使い方なども教わりました。

切った木は枝を落として片付けました。地道な作業ですが、こうすると森がきれいになります。

歩道整備の様子

“かけや”を使って、杭を打ち込み丸太を設置しました。↓



歩きやすい道を作りました。

チェーンソーを使った倒木作業を見学しました。↓



杭と丸太を“かすがい”を打ち込んで、とめていきます。



本年度の活動も多くの方の支援をいただきました。ありがとうございました。

「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先
国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6
TEL: (0572)25-8020
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>